

くすのき

校訓「かしこく やさしく たくましく そしてふるさとを愛する子どもに」

西合志第一小学校
学校だより 第39号
文責 校長 西村羊治
令和6年9月25日

伝わる！

先日18日(水)、2年生で国語科の研究授業がありました。手前味噌になりますが、授業前の黙想、挨拶や話の聞き方などの学習規律がしっかりしており、意欲的に授業に参加し、発表する子ども達の姿は立派でした。事後の研究会においてもすべての職員が発言し、教師の授業力向上の意欲付けにつながりました。



私は、出張で学校不在の時以外は、短時間ですが各教室におじゃましています。(担任は嫌かも知れませんが…)別の日、ある担任の先生が不在だったので教頭先生が2年生の書写の授業をしておられました。日々の担任の指導もあり、担任外の先生に対しても挨拶も姿勢も立派でした。また、他のクラスを見にいくと1年生は算数、3年生は百五十周年に向けての作文、4年生は外国語活動、5年生と

6年生は、轟支部長様が見守る中での総合的な学習の時間でした。それぞれのクラスの子も達が、授業に対して意欲的に取り組んでいます。昨年もそのような子ども達の姿は見られていましたが、今年度はその意欲がさらにバージョンアップしています。その理由を考えると、一つの要因として、担任自ら、教師自らが、すべての子ども達への愛情はもちろんですが、授業の準備や授業そのものを楽しんでいる



ことがあげられます。私も教諭時代、準備を万全にしていると「早く授業したい」「子どもに達成感を味わわせ笑顔を引き出すぞ!」という気持ちが湧いていました。そして、その気持ちが子ども達に伝わっていたことを思い出します。もちろん毎時間は無理ですが、子ども達が「わかった!」「なるほど!」という「笑顔」を見せた時の達成感は爽快でした。

このように指導者の気持ちややる気は、子ども達に伝わります。逆に教材研究もせずに不安な気持ちで授業に臨むと、授業者側の不安が子ども達に伝わり、退屈し始めます。

子ども達が意欲的に笑顔で「学ぶことが楽しい」という様子を見ることは、教師の大きなやりがいになります。西合志第一小学校の各職員は、今そのことを誠意をもって実行してくれています。校長として誇りに思います。職員構成としてベテラン・中堅・若手と経験や力量の差はありますが、お互いの短所をお互いの長所でおぎ合いながらのOJTも見て取れます。教師同士が仲良く協力し合い、笑顔で楽しみながら授業を実施すると、それが子ども達に伝わります。このよいサイクルが続いていくことを想像すると、思わずにやにやしている自分がいます。今年度百五十周年を迎える西合志第一小学校。次は、二百周年に向けてさらに五者が連携し、子ども達が健やかに成長することを考えるとわくわくします。子ども達、各職員に感謝です!

